

平成 31 年 2 月 28 日

建一第 118 号入札参加申請者 各位

新潟市建築部公共建築第 1 課
新潟市西蒲区地域総務課

**建一第 118 号 西蒲区役所岩室出張所庁舎屋上防水改修工事
工事の積算内容について（お知らせ）**

平成 31 年 2 月 14 日公告の「建一第 118 号 西蒲区役所岩室出張所庁舎屋上防水改修工事」の積算について、下記のとおりお知らせいたします。

質疑については、電子入札システム上で回答済みですが、積算にあたってはご注意くださいますよう、よろしくお願ひします。

記

1. 設計図書 （設計図 図面番号 A-03、A-13）

【A-03】

2階屋上広場R6の平場改修①、「既存タイル撤去」の記載を、「既存タイル撤去（タイルのみ）」に変更しました。

【A-13】

2階屋上広場パラペット・腰水切り詳細図 改修前の、（モルタル共 撤去）の記載を削除しました。

上記図面に訂正がありました。設計図書を修正いたしましたので、入札金額の積算にあたっては、新たに以下に掲載した設計図書を正として積算してください。

[特記事項]

- ① 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編平成28年版）」による。
- ② 防水工事は、新潟市防水工事業協会会員の施工の場合は、防水施工業者、請負者、新潟市防水工事業協会及び新潟県防水協同組合との4社連名の保証書を提出する。新潟市防水工事業協会会員以外で新潟県防水工事業協同組合員の施工の場合は、防水施工業者、請負者及び新潟県防水工事業協同組合との3社連名の保証書を提出する。新潟県防水工事業協同組合員以外の施工で市が認めた場合は、防水施工業者、請負者及び製造所との3社連名の保証書を提出する。保証期間は、10年間とする。
- ③ 当該工事に先立ち、施工数量調査報告書を作成し、監督員に提出する。施工方法について監督員と協議し、施工計画書を作成・提出し監督員の承諾得た後、施工する。
- ④ スレーナは、既存品を取外し、再取付とする。
- ⑤ シートの取付鋼板及び脱気装置の取付については、ルーフイングシート製造所の指定とする。
- ⑥ 風圧力計算を行い、防水層の固定金具ピッチの施工計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。
- ⑦ 資材搬入時の工事車両の出入りには、交通誘導員を配置し、安全に十分配慮する。
- ⑧ 昇降用足場は手すり先行工法とする。「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
- ⑨ 昇降用足場には、工事関係者以外の侵入を防止する対策を講じる。
- ⑩ 2階屋上広場出入口既存建具、握り玉(シリング-錠含む)の取替を行う。(シリング-、シリング-)
- ⑪ B階段PH階屋上、風力計基礎撤去を行う。(W=2,000×D=2,000×H=250)
- ⑫ 発生材の処理等について、産業廃棄物処理計画書を監督員に提出すること。
- ⑬ 完成図等について、監督員が指定した図面を作成し提出する。
なお、作成方法等は、監督員の指示による。図面データ(jw_c a d f e - t a P D F e - t a)共
- ⑭ 施工図等の取扱について、当該工事で作成される施工図等の著作権に係わる使用権は発注者に委譲するものとする。また、受注者は著作者人格権を行使しないものとする。
- ⑮ 工事完成写真について、同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理の上監督員に提出する。
※ 提出部数 2部
- ⑯ 工事施工状況写真について、工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)・同解説工事写真の撮り方 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。
※ 提出部数 1部
- ⑰ 工事用水及び、工事用電力について構内既存の施設から有償で利用できる。
- ⑱ 技能士

防水改修工事	技能検定の職種
	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○シリング防水工事作業
	○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・左官 ○建築板金(内外装板金作業)
	○塩化ビニル系シート防水工事作業

- ① 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	コンクリート類(有筋)
処理施設名称	株式会社 セキヤ(県央エコプラント)
施設所在地	新潟県燕市吉田鴻巣1568番地
連絡先	0256-94-7737
備考	

搬出する廃棄物名	金属類
処理施設名称	株式会社 セキヤ(県央エコプラント)
施設所在地	新潟県燕市吉田鴻巣1568番地
連絡先	0256-94-7737
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としなない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- ⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
- ⑥ 再生資源利用計画書を作成するものとする。
- ⑦ 再生資源利用促進計画書を作成するものとする。
- ⑧ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合は、委託契約書の写しを提出すること。
- ⑨ 廃棄物は適正に処理し、manifestoを交付するとともにその写しを提出すること。
提出物 ※排出事業者保存用伝票全ての写し(E票)
当該工事の受渡確認票、manifesto情報登録証明など(電子manifestoの場合)
- ⑩ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、4～9の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

屋上防水仕様					
部 位	改修前	記 号	改修後	笠 木	
B階段PH屋上	コンクリート金鍍下地 均しモルタル厚15 アスファルト防水(露出工法) D1	R1	平 場	● 既存防水層 非撤去(M4S工法) ① 既存風力計基礎撤去 W=2,000 D=2,000 H=250 ② 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ③ 合成高分子系ルーフイングシート防水 機械的固定工法(S-M2工法) 厚1.5mm 非歩行用 新設	・笠木及び腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り	● 既存防水層 非撤去(M4S工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② 合成高分子系ルーフイングシート防水 機械的固定工法(S-M2工法) 厚1.5mm 非歩行用 新設	
多目的ル屋上	コンクリート金鍍下地 均しモルタル厚15 アスファルト防水(露出工法) D1	R2	平 場	● 既存防水層 非撤去(M4S工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② 合成高分子系ルーフイングシート防水 機械的固定工法(S-M2工法) 厚1.5mm 非歩行用 新設	・笠木及び腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り	● 既存防水層 非撤去(M4S工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② 合成高分子系ルーフイングシート防水 機械的固定工法(S-M2工法) 厚1.5mm 非歩行用 新設	
屋上 (3階屋根部)	押えコンクリート厚50 モルタル金鍍仕上げ厚25 コンクリート金鍍下地 アスファルト防水(絶縁工法) B1 保護モルタル厚20	R3	平 場	● 既存防水保護層 非撤去(POX工法) ① 既存押えコンクリートの伸縮目地 撤去 ② 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ③ 伸縮目地: プチコム系テープ W=100 新設 ④ ウレタンゴム系塗膜防水 絶縁工法(X-1) 厚2.0mm 非歩行用 新設 脱気装置 1ヶ所/50m程度 新設	・笠木下端(内側水平部分)のシリングは撤去・新設 ・腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り 手摺基礎廻り	● 既存防水保護層 非撤去(POX工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	
3階(A) ハルコニ	保護モルタル厚15 モルタル防水金鍍仕上厚30 コンクリート金鍍下地 均しモルタル厚15 アスファルト防水(絶縁工法) B1	R4	平 場	● 既存防水保護層非撤去(POX工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	・腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り	● 既存防水保護層 非撤去(POX工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	
2階 3階(B)・(C) ハルコニ	保護モルタル厚15 ラスモルタル厚60下地磁器質タイル貼り100角 コンクリート金鍍下地 均しモルタル厚15 アスファルト防水(絶縁工法) B1	R5	平 場	● 既存防水保護層非撤去(上部タイル撤去、POX工法) ① 既存タイル撤去(タイルのみ) ② 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ③ 防水下地モルタル 厚15 新設 ④ ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設 脱気装置 1ヶ所/50m程度	・腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り 手摺基礎廻り	● 既存防水保護層 非撤去(POX工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	
2階屋上広場	押えコンクリート厚60 モルタル下地磁器質タイル貼り(100角厚15) 仕上 コンクリート金鍍下地 アスファルト防水(絶縁工法) B1 保護モルタル厚20	R6	平 場	● 既存防水保護層 非撤去(上部タイル撤去、POX工法) ① 既存タイル撤去(タイルのみ)、既存押えコンクリートの伸縮目地 撤去 ② 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ③ 伸縮目地: プチコム系テープ W=100 新設 ④ 防水下地モルタル 厚15 新設 ⑤ ウレタンゴム系塗膜防水 絶縁工法(X-1) 厚2.0mm 非歩行用 新設 脱気装置 1ヶ所/50m程度	・笠木及び腰水切り取外し、再取付(7製)
			立上り 手摺基礎廻り	● 既存防水保護層 非撤去(POX工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	
庇屋根 (北側出入口)	コンクリート金鍍下地 ウレタンゴム系塗膜防水防水	R7	平 場	● 既存防水層 非撤去(L4X工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	・防水押え金物取外し、再取付(7製)
			立上り	● 既存防水層 非撤去(L4X工法) ① 清掃・水洗い(高圧洗浄15MPa以上) ② ウレタンゴム系塗膜防水 密着工法(X-2) 厚2.0mm 非歩行用 新設	
渡り廊下屋根	傾斜部	R8	傾斜部	● ガ-工法 ① アスファルトルーフイング940 新設 ② 長尺溶融55%7ニウム・亜鉛合金鋼板厚0.4加工 新設	・笠木下端(内側水平部分)のシリングは撤去・新設
	立上り		● ガ-工法 ① 水下側上部耐酸被覆鋼板厚0.6 撤去 ② アスファルトルーフイング940 新設 ③ 長尺溶融55%7ニウム・亜鉛合金鋼板厚0.4加工 新設		
	箱樋 (立上り含む)		● ガ-工法 ① アスファルトルーフイング940 新設 ② 長尺溶融55%7ニウム・亜鉛合金鋼板厚0.6加工 新設		

